

また あいたくて

「あ・い・た・く・て」

工藤直子

さよなら三角 またきて四角
またあえるね と うたってた

さよなら春 さよなら夏
さよなら秋 さよなら冬

さよならを くりかえし
さよならを つみかさね

また あいたくて なにかに
きょうも あるいていく

も く じ

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・第11回 ES総会 報告 | p. 2～3 |
| ・CAP委員会より | p. 4 |
| ・オレンジりぼんより | p. 5 |
| ・その他の活動報告 | p. 6～7 |
| ・インフォメーション & CAP 活動報告 | p. 8～9 |
| ・事務局からのインフォメーション | 裏表紙 |



第11回 ES総会 あいさつ

こんにちは

昨年今日、特定非営利活動法人（NPO法人）えんぱわめんと堺/ES10年のあいさつをし、あっという間の一年で設立11回の総会を開催する運びになりました。会員の皆さまには、この10年をベースにさらなる活動へのご理解ご協力、そしてご支援をいただき有難うございます。

さて、私たちが活動の中で大事にしている場ってどこですか？
子どもたちと向き合う場は、学校であったり、教室、またワークショップ会場です。
その場で担う役割としてファシリテーターを務めています、一人ひとりの子どもたちへの向き合い方を、どこで学ぶかということということです。

こんなコラムがありました。「落語家になるということ」
落語家が大事にしている寄席と言う場は、落語家を育てる場として維持しているとあります。
本当の落語家が本当のお客に向けて語っている落語の現場に周道的に参加し、
その落語の場の一部となることによって、落語家としての自分を作り上げていく・・・と記されています。正統的周辺参加としての落語家の学びになる。

私たちの活動でビジョンになっている子どもの人権では、子どもの参加があり、その参加を促すファシリテーションの学びは不可欠です。
子どもと向き合うことで、子どもから学ぶことも多くありますが、実はそこにいるおとなの一人として、私たちの姿勢や行動は大きな影響を与えている場でもあります。
その場でファシリテーターが、エンパワメントの関わりでその一人ひとりの力を取り戻し、お互いを尊重する関係性を育むことで未来への展望が見えてきます。今年度も場を大切にしていきたいと思います。

北野 真由美



総会イベント

2013年5月19日に開催された第11回ES総会終了後、総会イベントを催しました。賛助会員の方々の参加がなかったのが残念でしたが、グループに分かれ、えんばわめんと堺／ESが特定非営利活動(NPO)法人となつてからの10年の歩みや、その間の個々のメンバーの10年を振り返りました。その後全体で、グループで出た話を共有しました。

それぞれのメンバーのCAPとの出会い、CAPスペシャリスト養成講座を受講した時のこと、初めてワークショップで子どもたちの前に立った時のこと、さらには、ESがNPO法人格をとるはるか前のことなどなど・・・話は尽きませんでした。ESの歩みとともに、メンバーも変化、成長し、周りの社会環境も大きく変わってきていることを再確認しました。

10年前にESがNPO法人として第1歩を踏み出したとき、ESの未来に向けてエンパワメントの樹が大きく育つようと、オープニングイベントに参加してくれた多くの子どもやおとなからの応援メッセージを模造紙に貼り、「ESの樹」を作りました。

今回は10年後に向けて、20周年を迎えるとき、ESや社会がどうなっていて欲しいか、参加したメンバーがメッセージを寄せ、新しい「ESの樹」を作成しました。

今年度は、次の10年に向けてまた新たな1歩を踏み出す年です。今後も、わたしたちESは、子どもの人権を大切に、子どももおとなもだれもが「安心・自信・自由」な気持ちで生きられる社会を少しでも実現できるように、一歩一歩進んでいきたいと思います。





CAPおとなワークショップは、なぜ必要なの？

CAP子どもワークショップでは、子どもたちに権利があると伝えています。そして、暴力にあった**自由**の権利が取らせそうになった時には、信頼で



安心・自信・自由の
た時に**安心・自信・**
きるおとなに



相談することが大切だと伝えています。

子どもが暴力について言葉にして話すことができるためには、おとなが子どもの話を共感しながらきちんと聴くことが大切です。



CAPおとなワークショップでは、CAPプログラムの内容を学び、子どもの話をどのように聴けばよいか、また、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの力を信じ、子ども自身が問題解決できるための子どもたちへの関わりかたの具体的な方法をお伝えしています。受講することによって、子どもたちとおとながCAPで学んだ事を共有することができ、より効果的になります。人数の制限はありませんが、人数によって、講演会形式やワークショップ形式になります。

(実施先例 学校園PTA 自治会、子ども会、子育てサークルなど)

おとなワークショップを受けて・・・

「あなたは小さいから何もできない」と言いすぎていた反省。

しつこく言ってくると「うるさい」と言ってしまう。子どもの気持ちを聴く事が大事とわかった。

おとなも失敗したり、間違えることもあるという話を聞いてほっとした。

おとなWで困った時には、ちくりや告げ口でなく相談と聞いていたので子どもが困った時に伝えることができた。

オレンジぼん

この4月から新しく大学生がオレンジりぼんに参加してくれています。とても、頼りになる2人です。彼らに、メッセージをいただきました(^_^)

“オレンジりぼん”には知人による紹介がキッカケで参加させて頂けることになりました。

“オレンジりぼん”での体験は、初めてのことばかりでした。発達障害・自閉症の方々との関わりは日常にはなく、自分の価値観を広げるよい経験になったと思います。

また、印象に残っているのは、オレンジりぼんに参加されている方は、一人ひとり凄く良い所があって、自分にはまねできない才能を持っているということです。例えば、記憶力や想像力や集中力など。もっとその才能を社会で活かせる場所を増やしていく必要があるんじゃないかと思います。また、このようなことを若い人たちにももっと知ってもらいたいと思いました。今後も出来る限り、活動に参加していきたいと考えています。

私がオレンジりぼんに参加しようと思ったのは、短大に入ってから障害を持っている人と関わりたいと思ったからです。私は学生時代に、養護学校の学童保育のボランティアをしていました。私は初めて参加するまで、オレンジりぼんがどういうものかがわからず、小さい子どもと関わるんだと思っていました。自分と年齢が近いおとなの方と関わると知り、うまく関わることができるか不安でした。しかし、彼らは私を温かく迎えてくれました。紙風船で叩きあいをしたり、絵を描いたり、折り紙で星を作ったりしました。紙風船は童心に帰って夢中で楽しみました。紙風船で遊んだ彼は日頃のストレスを発散することができて良かったと思います。

まだ3回くらいしかオレンジりぼんに参加していませんが、これからも継続的に参加していきたいです。月1回なので、これからはもっと積極的に関わろうと思います。もう少し開催してくれるといいなと思います。

*ローズカーニバル

今年も、5月19日に浜寺公園で開催されたローズカーニバルに参加しました。フリーマーケットでの売上金および寄付金を利用して、障がいのある子どもたちへのワークショップを開催する予定です。関心のある方は、ES事務所までご連絡ください。



「夏休みファミリー劇場」

大阪市教育委員会・大阪市 PTA 協議会主催の「夏休みファミリー劇場」の委託を受けました。夏休み期間中、人権をテーマにした映画を市内4か所で上映し、家族や住民同士が人権について語り合う場とすることによって、家庭と地域のつながりや、地域社会へと広がる人権教育が目的。

大阪市が準備した映画「森のなかまたち」は、動物がモデルとなり、仲間を大切にするというメッセージのアニメーション。

その後のワークショップをえんばわめんと堺が委託されました。

そこで ES ではそれぞれの動物の気持ちを考えるところから、今の自分の気持ちをポーズをつけて表現したり、からだと気持ちはつながっているから、自分のからだと気持ちを大切にしようねと、手遊び歌を交えてのプログラムを作成しました。ワークショップ終了時に配るリーフレットも作成しました。

プログラム案を練っている頃は、1学期の CAP ワークショップが多忙な時期でしたが、メンバーが協力して、なんとかプログラム完成！

当日はどの会場も親子での参加が多くみられましたが、毎回席がすべて埋まるほどの大盛況！たくさん子ども達が自分の気持ちを表してくれました。

3歳くらいの子が、自分の気持ちを発表しようと、ファシリテーターの前で一生懸命に話す姿に微笑ましくなりました。

ワークショップの最後には、今の自分の気持ちを折り紙で折って、「きもち宝物」の袋に入れて終了。夏休みの間、会場に展示して頂きました。

学校現場ではない所でも、多くの子ども達とワークショップが出来た事、大阪市教育委員会の方にご尽力頂いたことなど、大きな実りの夏休みとなりました。（しおちゃん）





RE:プログラム

「いじめ」ちょっとでもなくしたいプログラム

この4月に「CAP やお」を中心に、姫路の市立中学校へプログラムを届けるためのチーム“survival(サバイバル)13 実行委員会”が結成されました。ES もこのチームに参加しています。「CAP やお」のメンバーを中心に、様々な団体・個人が関わり、まったく新しい「いじめ」啓発プログラムが開発されました。ES からは代表の北野がプログラム開発に参加しました。

RE:プログラムの「RE」には返信、応答といった意味があります。「子どもたちからの発信に答えるよ」といった意味を込めています。その他「R」には、Rights(権利)、Resilience(回復・弾力性)・Respect(尊重)、「E」には Empowerment(内なる力を発揮する)、Emotion(気持ち)など、いろんな意味を込めて、この名前が付けられました。

すでに1学期に数校にこのプログラムを届けています。生徒たちは、2時間のプログラムの間、真剣に考えて取り組んでくれたようです。

2学期、3学期にも数校ずつ届ける予定です。生徒たちから、どのような反応、感想が返ってくるのか楽しみです。



研修講座開催のお知らせ

☆『【仮】発達障がいの子ども対象

コミュニケーションスキルトレーニングプログラム作りにつなげる』

講師：伊丹 昌一さん（梅花女子大学教授）

日時：２０１４年１月２６日（日）午後

場所：堺市産業振興センター（旧：じばしん）４階 セミナー室４

定員：１００名 参加費無料

＊ドコモ市民活動団体への助成金事業

☆『【仮】今どきの就学前の子育て事情～子育てしやすい地域にしたい～』

講師：山縣 文治さん（関西大学教授）

日時：２０１４年２月２３日（日）午後２時から４時３０分（質疑応答含む）

場所：堺市産業振興センター（旧：じばしん）４階 セミナー室２

定員：５０名 参加費無料

＊堺市市民活動支援基金補助金（指定寄付）事業

☆ 今年度も２０１４年１月に堺市男女共同参画週間に実施する学習会を開催予定。





CAP 活動報告

2013 年 4 月～8 月まで

	子どもワークショップ									おとなワークショップ	
	小学校			幼稚園・保育所			中学校			回数 (教職員)	人数 (教職員)
	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数		
4 月	0	0	0	1	1	25	0	0	0	1(1)	1(1)
5 月	1	3	79	2	4	91	0	0	0	7(7)	7(7)
6 月	6	15	509	6	12	326	3	6	223	17(15)	115(45)
7 月	2	5	152	2	2	52	2	9	291	8(6)	159(34)
8 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(0)	1(0)
合計	9	23	740	11	19	494	5	15	514	34(29)	283(87)



* 助成金報告 * ありがとうございました !

○ 2013 年度「ドコモ市民活動団体への助成」

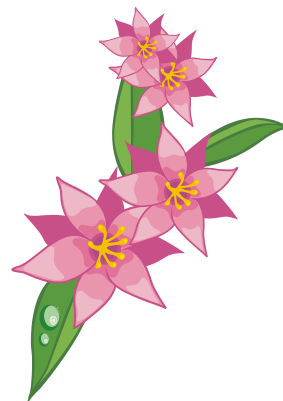
- ・・・ オレンジりぼん活動として、発達障がい児向けコミュニケーション支援のワークショップ、及び、支援者（保護者、教職員、地域の人、その他）向け研修講座を開催する予定です。〈研修講座については p.8 参照〉

○ 公益財団法人高原環境財団助成金

- ・・・ HR事業として、「PLTプログラム」を
小学校低学年児対象に届けます。

☆「PLTプログラム」

自然の中で五感を使って、子どもの感情・感性を育み、
自然の多様性を学びながら、一人ひとりの多様性に気づくプログラム。



ES インフォメーション

助成金での研修講座案内ダイジェスト

会員募集～入会手続き～

正会員 5,000 円

(初年度のみ入会金 3,000 円)

賛助会員 1,000 円 (入会金なし)

◎ 更新日は年2回 (1 月 31 日・8 月 31 日) です。

◎ 会員有効期間は1年です。

郵便振替～通信欄に必要事項をご記入ください。

加入者名 特定非営利活動法人えんばわめんと堺

口座番号 00920-9-182116

正会員 30名

賛助会員 47名 (59口)

2013年 9月

ESの活動はみなさまからの寄付、ご支援にささえられております。今後ともよろしく願いいたします。

〒599-8244 堺市中区上之801番5号

特定非営利活動法人えんばわめんと堺/ES

TEL: 072-230-5588 FAX: 072-230-5589

E-mail: empowerment@lily.ocn.ne.jp



編集後記

急な季節の変化に、もう少しゆっくり秋が進んでほしいと思う今日この頃。

秋の訪れと共に 2020 東京五輪の開催が決定しました。自国開催でスポーツの感動を味わえる嬉しさと、被災地のことを置き去りにしてはならないという思い。

今一度、襟を正して・・・ですね。

ESは10周年を終え、これからも、しっかりとアンテナを張り、活動して行きたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

